

かんたん・あんしん珪藻土の施工方法

京壁なおしの施工方法も同様です。

きれいに仕上げるために、最初にお読みください。

- ①** 塗ることのできる素材： 古い塗り壁（セナイ壁・ジュラク壁・砂壁）、しっくい、モルタル、コンクリート、（内壁・天井専用です） 合板、コンパネ、石こうボード、ビニール壁紙

※ 古い壁や木部に塗る際には、「アクドメール」を塗って乾燥させてください。ボード類には必要に応じて目地処理をします。

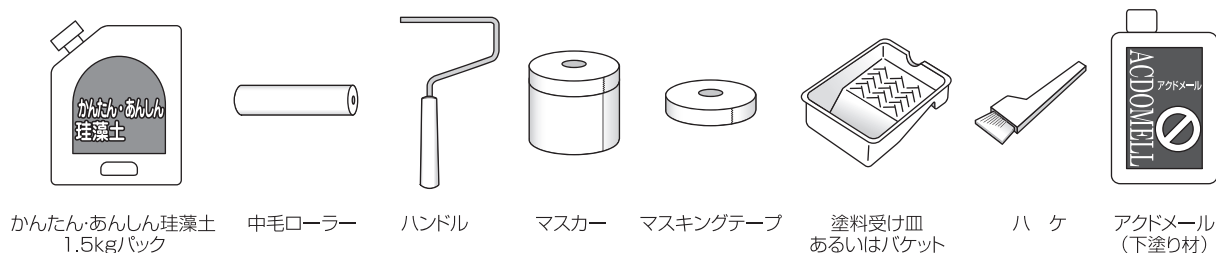
※ ビニール壁紙、石こうボードについても汚れがある場合は「アクドメール」を塗って乾燥させてください。

塗れない素材・場所： 布壁紙、紙壁紙、ガラス、プラスチック、各種金属、化粧合板、タイル、外部、風呂場などの多量の水がかりがある場所

自宅の壁に塗れるかな?と思ったら

フリーダイヤル 0120-64-2421 にご連絡ください。(平日8:00~17:00)

- ②** 使用する材料と道具(かんたん・あんしんセットには、この説明書と、材料以外のものが入っています。)

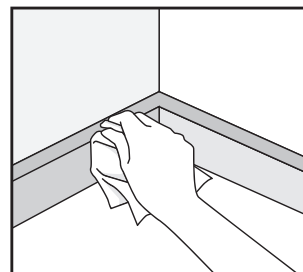


- 他に、エプロン(汚れてもいい服)、カッター、脚立、ビニール袋、ウエス(タオル・雑巾)などを準備してください。
- かんたん・あんしん珪藻土1.5kgで、3~4m²(タタミ約2枚分の面積)が塗れます。(2回塗り) 塗る面積に合わせてご準備ください。

- ③** 養生をはじめましょう

塗ってはいけないところに材料がつかないように、マスカーやマスキングテープを使用して保護をします。仕上がり左右する大切な作業です。早く塗りたい気持ちをグッと押さえて、ていねいに保護しましょう。(塗ってはいけないところを保護することを「養生」といいます。)

まず、養生する(テープを貼り付ける)場所のホコリなどを雑巾などで拭き取ります。ホコリなどがあるとテープが付きません。



拭きとったところが乾いてから 養生作業に入ります。



端々までていねいに!

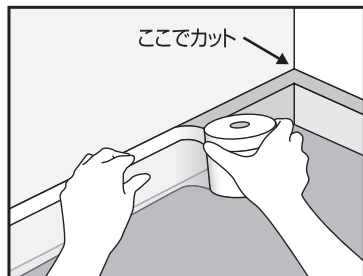
トイレ・ドアは使用可能なように!

細かなところはテープを使って!

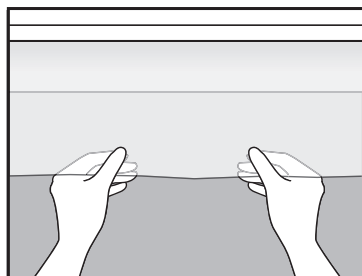
④ マスカーを使った養生

マスカーはテープとビニールシートが一体になっていて、**ドアや床面などの広い部分**の養生に便利です。

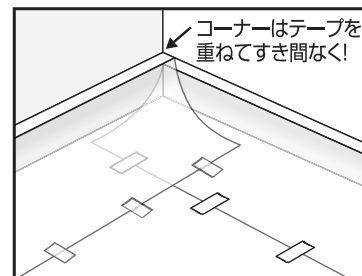
養生部分にテープを貼り、端のところでテープとシートを一緒にカットします。



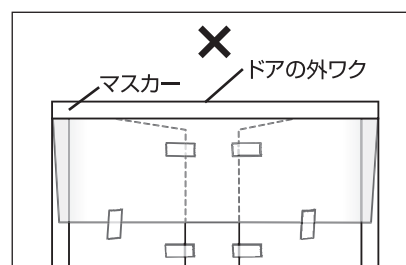
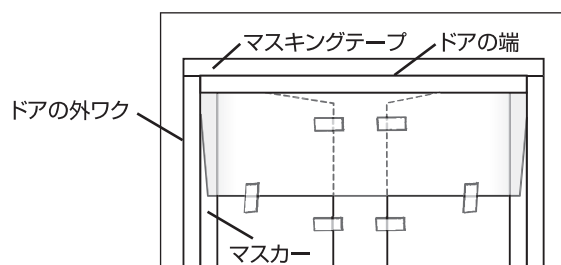
折りたたんだビニールシート部分を伸ばし、塗らないところを隠すように広げます。



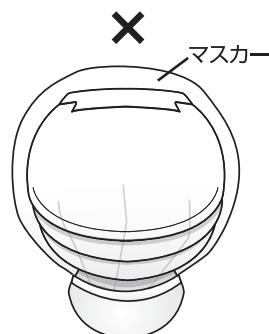
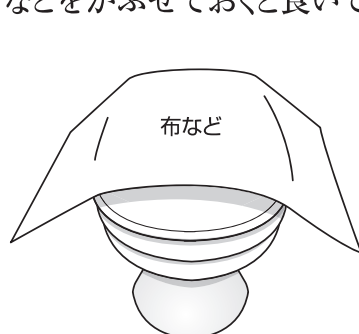
ビニールシートの端はマスキングテープで、ところどころ留めておきます。



ドアの養生をする場合は、マスカーとマスキングテープを使い分けて、**ドアが開くように**しておく必要があります。(ドアの外ワクとドアの可動部分とは別々に養生します。)



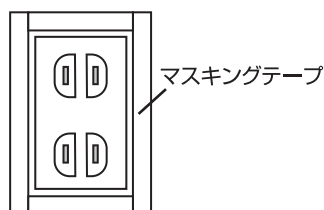
トイレの**便座は使用できる状態にしておく**必要があります。マスカーなどで養生しないで、不要な布などをかぶせておくとい良いでしょう。



チェック! ドアは開けることができますか? 便座は使用できますか? ご自宅にトイレが2箇所以上あれば良いのですが、1箇所の場合は、大切なチェックポイントです。

⑤ マスキングテープを使用した養生

コンセントやパイプなど、比較的細かな部分は、マスキングテープを使って養生します。

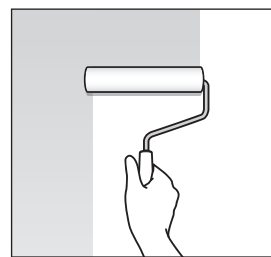


チェック! 養生が終わったら、テープの剥がれがないか、やり残しはないか、ローラーを転がせるイメージをしながら確認しましょう。

⑥ 古い壁に塗る場合

古い壁に塗る場合(塗り壁・ビニール壁紙)には、前日にアクドメール下地強化剤「アクドメール」を下塗りし、乾燥させてください。ビニール壁紙が剥がれている部分は、水性接着剤で貼り付けておきます。

他社の下塗材は使用できません。

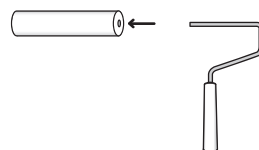


アクドメールについても中毛ローラーで塗ります。

⑦ 塗装作業の開始

養生確認、下地確認ができたなら、**汚れてもいい服に着替えて、いよいよ塗装作業です。**服などの布に材料が付くと、完全には洗い落とせません。また、**室内の風通しを良くしておくことを忘れずに!**

① ローラーのビニールカバーを剥がし、ハンドルに差し込みます。



② かんたん・あんしん珪藻土は、天然素材が沈んでいますので、開封前に中身が均一になるまで、よく振ってまぜてください。

水を加えないでください。(希釈しないでください。)



③ パック上部のコックをひねって開けます。

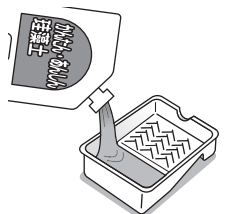
パックを持ったままで開けると、中身が飛び出す恐れがありますので、パックを置いた状態で開けてください。



④ 受け皿に材料を出します。

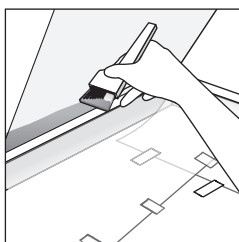
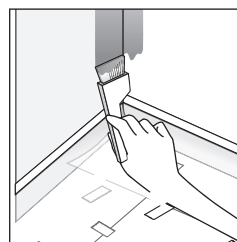
一度に全量を出さないで、受け皿やバケツから溢れない程度に出してください。

材料を追加する時は、再度コックを閉めてから、②と同様にまぜてから追加してください。

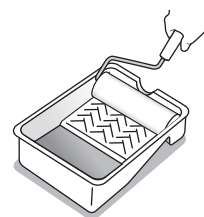


⑧ 塗り付けのコツ(二度塗りの一度目)

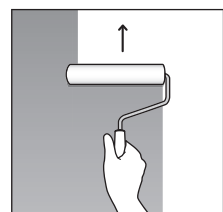
① まず、コーナー部分や細かな部分を先に塗ります。
この作業はハケを使って行います。



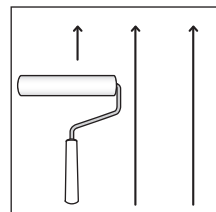
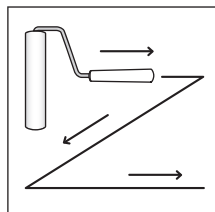
② いよいよ壁面に塗り広げます。ローラーに材料を含ませ、**受け皿の凹凸面で転がして垂れないようにします。**
厚塗りは「ひび割れ」の原因になります。
下地が見えない程度に、薄く塗り広げます。



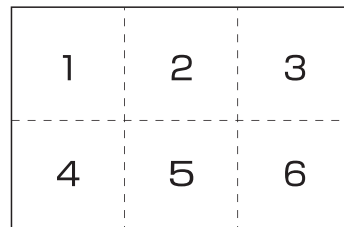
③ ローラーで材料を配り塗りするには、**下から上にローラーを転がします。**上から下に転がすと、材料が垂れてしまいますので、必ず下から上に、力を平均にかけて、ゆっくりと転がしてください。



④ 次に、ローラーを横に転がして材料が均一になるようにし、最後にもう一度下から上に転がして表面を整えます。



⑤ 塗る順番は、右図のように壁面の区分けをイメージし、壁上部から壁下部へと、1.2.3…の区分の順に、②・③・④の作業をくり返して塗り進んでいきます。



チェック!

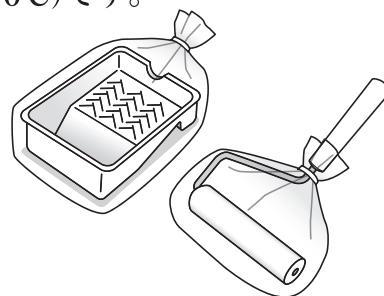
一度目の塗り付けでは、古い壁が少し透けて見えることがありますが、二度目の塗装でカバーできます。塗り残しがないかをチェックしてください。

⑨ 乾燥

一度目の塗装が乾燥するまで、しばらく休憩です。風通しを良くして待ちましょう。乾燥時間は、下地の種類・気温・湿度で前後しますが、約2時間(20℃)です。

① 道具はビニール袋に入れて密閉しておきます。ビニール袋の中の空気をなるべく抜いて、乾燥を防ぎます。

② 一度目と二度目の間隔は、一週間以内であれば大丈夫。なるべく同じ日か翌日に二度目の塗装をすることをお勧めします。



⑩ 二度目の塗り付け

一度目で塗り付けた材料が乾燥したら、⑧の①～⑤と同じ手順で、二回目の塗り付けをします。仕上げですので、塗りムラや塗り残しがないように、ていねいに塗りましょう。完全乾燥までには、約12時間(20℃)かかります。透けが気になる場合は、乾燥してから、もう一度塗ってください。**完全に乾燥しても、古い壁の凹凸感が残ります。**

⑪ ローラーやハケに付いた材料は新聞紙などに押し付けて取り、乾燥させてから可燃ゴミとして廃棄します。

白い洗浄液を河川に流すと環境汚染となりますので流さないでください。

残った材料も新聞紙などに吸い込ませて乾燥させ、可燃ゴミとして廃棄してください。

⑫ 養生の取り外し

完全に乾燥してから、養生を取り外します。取り外したマスキングテープは、各自治体の定める方法に従って廃棄してください。

完成です。

施工に自信が持てたら
他の部屋の塗り替えにもチャレンジしてください。



10kg缶もあります・
20～25㎡／缶

ご不明の点は、下記までお問合せください。



フジワラ化学株式会社 愛媛県西条市大新田94番地

フリーダイヤル 0120-64-2421 (平日8:00～17:00)

e-mail:homecare@fujiwara-chemical.co.jp